

# キリストがすべて

第151号 2016年4月20日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
第一次神の国に仕えるプロジェクト	2
特集	3
座談会	大学基準協会による 認証評価結果報告
卒業特集	6
国際キリスト教福祉学科	
卒業特集	8
神学科・大学院	
教会音楽	
ニュース	10
卒業生からの手紙	12
支援会ニュース	13
Information	16

- ① 2015年度神学部卒業生
- ② 新学期の風景
- ③ 2015年度大学院修了生
- ④ 韓国異文化実習



## TCUCの夢を携帯しています

東京キリスト教学園理事長 廣瀬 薫

「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして心に走っているのです。」(ピリピ3章14節)

「教会伝道のため、いつ頃からか、ポケットの手帳の中に何枚かの紙片を携帯しています。」

①「一週間の聖句」。これは7つの聖句を選んで、日曜から土曜までの7日間に二つずつ並べたものです。基本的に緊張や逆境や大切な場にある人への励ましとなるものを選んであります。病床を訪問した時にその日の聖句を朗読して祈ったり、これからチャレンジに向かう方への励ましに用いたりして来ました。ある演奏家は、「本番の時心が落ち着く紙」と言って大事に用いて下さいました。

②「イエス・キリストを受け入れる祈り」。個人伝道の時、「イエス様を救い主として受け入れるにはこんな風に祈ります」という説明に使います。受け入れの祈りを共にする感動はいつも、大げさようですが「今日まで生きて来て良かった」と感じるほどのものです。

③「実践的クリスチャン生活」○カ条。これはクリスチャン生活を実践的に過ごす基本を並べて作りました。

④「主人がしてはならぬこと二〇カ

⑤TCUCの「年間祈禱課題」。職員毎朝の朝会を初め、日々の祈りに用いています。

⑥「TCUCが目指す夢10」。「夢」の項目数は、当初40→前に大学報で紹介した20→昨秋10、と次第に凝縮して来ました。今これが次頁で紹介する「第一次神の国に仕えるプロジェクト」が目指す方向として、計画書の表紙に掲げられています。皆様も身近に携帯して心に留めて下さるならば幸いです。



東京基督教大学

## 「第一次神の国に仕えるプロジェクト」を始めました

東京キリスト教学園理事長

廣瀬 薫

TCUは多くの前身校の良き伝統を受け継ぎ発展させながら今日まで歩んで来ました。今キャンパスで学んでいる学生も教員も職員も、誰もが自覚しなくてはならないことは、継承した全ては、先人たちが神様と共に築いた歴史を経て神様から委託されたものであり、TCUは神の国の公器であつて、自分たちの世代だけで摩滅

衰耗させてはならず、むしろ全てをより良いかたちに整えて次世代に継承する責任があることです。

未来に思いを向けつつ、昨年新しい将来計画作成に着手いたしました。TCUを取り巻く環境は、大変厳しいものです。TCUの附属機関である「日本宣教リサーチ」がデータをまとめたレポートがウェブサイトに載っていますが、それを見ると、「日本のキリスト教信者数」のプロテスタントのグラフは、2010年前後をピークに明確な減少傾向に転じています。日本の教会は前世代から受け継いだものを摩滅衰耗させているのではないかと危惧しています。日本の少子高齢化と相まって「大学冬の時代」と言われて来ましたが、教会も少青少年高齢化が進みつつあり、この両方の影響をTCUにいると肌で実感できます。これは私たちが担うべき重荷であり、

これを打開して次世代の宣教と教会形成の隘路を開かねばならない時が今であると受け止めています。

昨年学内では、教員と職員と理事が会する機会を設け、話し合いを重ね、20年計画のアウトラインを作成いたしました。理事会ではこれを採択するに当たり、「第二次神の国に仕えるプロジェクト」と命名いたしました。この名称にも明らかのように、そして前述の教会と社会の課題と深く関

わることからも、これはTCUだけで実現できる内容ではありません。諸教会と共に、キリスト教諸団体と共に、そして支援者と共に、TCUが教会と社会に仕える歩みを進めようとする計画です。

内容は4つの大テーマに分かれています。根本的な理念の確認から具体的に詳細な行動目標まで多くの項目が羅列されました。それぞれにプロジェクトチームが教員と職員によって構成されて鋭意活動しています。今後その成果と活動内容のご報告が、次第に皆様の目に届くようになって行くと

思います。ご期待をもって楽しみにしていただくと共に、私たちのチャレンジを応援していただきたく、お祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

今回は、「第一次神の国に仕えるプロジェクト」が目指す方向として計画書の表紙に掲げられている「TCUの目指す夢10」をご紹介します。皆様もぜひ共有してお祈り下さい。そして皆様がTCUに期待する夢もお知らせ下さい。多くの方々の夢がTCUに託され、TCUが神の国の拠点としてそれを一つひとつ実現して行く場となりたく願っています。

### TCUの目指す夢10 (Ver.8b)

#### 関わる皆に神様の祝福を 取り次ぐ喜びを共にするTCU

##### 〈教職員〉

1. 教職員は、建学の精神に立ってTCUで働くことに感謝と喜びをもって生き活きと仕事をする。
2. 「神の国に仕えるプロジェクト」に教職協働で取り組み、向上し続けるTCUを次世代に継承する。

##### 〈学生・保護者・卒業生〉

3. 学生は在学中に霊的・知的・精神的・生活的全方面で、全人格的に見違えるように成長する。
4. 召命に応じて献身した卒業生は、聖書のキリスト教世界観に立って神の国を造る器として活躍する。

##### 〈青少年・社会人〉

5. 神の国の最善の働き人を育成する大学として、多くの青少年と社会人が目標とする進路となる。
6. キリスト教主義学校やチャーチスクールは、TCUの協力により生徒への伝道が進む。

##### 〈教会への貢献〉

7. 卒業生が仕える教会は福音の包括的な力を現し、地域の祝福の拠点となり、青少年が大勢集まる。
8. 研究と教育が信頼と尊敬を得、各神学分野の貢献と信徒教育が、全キリスト教界を活性化する。

##### 〈支援会・キャンパス・地域と社会への貢献〉

9. TCU支援会が全県及び海外に展開し、支援者に喜びと深い満足をもたらす。
10. 神学と宣教と教会音楽の聖地としてTCUは魂の巡礼先となり、地域への宣教も進む。



# 大学評価から見る TCUの現在・未来 キリスト教人格教育の実践

## 座談会 出席者

田邊純一氏

学校法人聖学院 理事・事務総局長  
1980～85年東京基督教短期大学事務局で勤務。  
2003年より学校法人聖学院に入職し、現在に至る。

小林高德 学長

大和昌平 学部長

山口陽一 研究科委員長



本学は、財団法人大学基準協会が実施する、2015（平成27）年度大学評価（認証評価）において、2016年3月23日付で大学基準を満たしているとして「適合」認定を受けました。認定の期間は、2016（平成28）年4月1日～2023（平成35）年3月31日。国・公・私立すべての大学は、文部科学大臣の認証する評価機関による、7年に1回の定期的な評価を受けることが義務化されています。

今回は、認証評価の内容を受けて、元東京基督教短期大学職員で現在学校法人聖学院理事の田邊純一氏を迎えて座談会を行いました。

**小林** 今日、今日は聖学院の理事・事務総局長の田邊純一さんをお迎えして座談会を開けることを感謝申し上げます。田邊さんは、東京都国立市にキャンパスがあった頃に本学の前身校東京基督教短期大学（以下、TCC）で職員をされていました。当時、私たち3人は同じ敷地にあった東京基督教神学校（以下、キリ神）の学生でした。その当時のことも振り返りつつ、今回本学が受けた大学認証評価についてのご意見を聞かせていただきたいと願っています。また、面倒見が良い大学として聖学院が取り組んでおられることもご紹介いただきながら、本学の運営へのアドバイスをいただければ幸いです。

さて、今回の認証評価を語る前に、前回の評価について触れる必要があります。前回は、大学と神学校との関係を改善することが指摘され、学部と大学院による教会教職者養成課程へ移行することで再評価で認証を受けました。もちろん、大学院構想は三つの神学校が合同した頃から

あったと思いますが。

**田邊** ありました。私がTCCで働き始めたのは、1980年で三つの神学校が合同したばかりの時でした。その頃から4年制大学設置とさらに大学院設置ということが言われていました。

**山口** 大学院への移行をした2010年前後は、キリ神の在籍者数が過去もつとも多い時期でした。また、教員の経歴も十分な実績がありましたので、新規の教員採用はなく開設できました。言うなれば、TCU開学から20年準備したわけですので非常に順調でした。

**田邊** 神学校に入学していた学生と、大学院の学生の違いはありますか？

**山口** 基本的には違いはありません。あえて違いを言うとしたら、これまでは学部の学びが終わり、改めて神学校でさらに学ぶということでしたが、今は学部から大学院へというスムーズな移行ができています。学生数もほぼ当初の見込み通りに推移しています。

## キリスト教全人格教育 について

**小林** そのような経緯を踏まえ、今回第2回目の認証評価を受け、無事に適合認定を受けることができました。この準備の過程で田邊さん



小林高徳学長

を訪ね、一足早く認証評価を受けられた聖学院大学からいろいろ教えていただきましたのは非常に心強かったです。改めて感謝申し上げます。

今回の評価では、特にキリスト教全人格教育の取り組みが評価されました。建学以来、トータルな人格の形成を目指してまいりますので、この点を評価していただいたのはとても喜ばしいことです。

**田邊** TCUは今も全寮制教育をしています。全寮制教育が人格教育の大きな要素の一つなのではないでしょうか。私がTCC職員だった頃からすでに全寮制で、特に家族寮の学生たちは子供がいる中で、本当に献身しているなど感心したのを覚えています。ただ、昔はTCCとキリ神とはかなりはっきりと区別していましたがね。

**小林** そうですね、TCCとキリ神の



田邊純一氏

寮はフロアで分かれていましたし、寮運営委員会も別でした。しかし、ある時にこのままではいけないということ、当時の寮運営委員会がすぐ時間をかけて二つになることに取り組み、寮の理念「神を愛し、人を愛する」をその時に決め、今に至っています。

**田邊** 全寮制ということですが、教育の二環としてどのように位置付けているのですか？

**小林** 学生生活ポートフォリオというものを導入し、学びだけではなくチャペル、早天祈祷会、掃除、皿洗い、委員会活動など学生生活を総合的に自己評価して成長することをめざしています。

**大和** 本学は建学以来、世の中の価値観とは違う人格教育をしてきました。学生たちは、みなキリストに献身する者として扱われます。そして各々教会と社会に仕える者として送り出す。その伝統を継承しています。成績を付けなければいけません、成績だ

けではなく、賜物が用いられ成長していくことを大事にしたいです。最近GPA※で評価し、基準を下回ると学び方をサポートしています。するとずいぶん伸びる人もいます。少人数教育ですので、世の中の一般的な基準で測るのではなく、いろんな賜物を持つ人として神様に用いられることをめざす大学として、きめ細かくサポートして丁寧な教育をしていけたらと願っています。

**田邊** 人格教育という面では、ミッションスクールの聖学院では神様から学生一人一人に与えられた賜物を発見して人格の完成へ導いていく教育をすると教育理念に掲げています。偏差値にとらわれない基準での評価をもつて日々の教育に取り組んでいます。人格教育のテーマからは離れますが、聖学院の課題は退学者問題です。そのために入学前の基礎教育を4回ほど行っています。結果として仲間づくり、居場所づくりになっていると思います。また、アドバイザー制度では、学生10人に一人のアドバイザーがついて大学生活での悩みや進路などの相談に応じています。学生にとっては、自分のことを知ってくれている存在がいるということが大事だと思えます。学力面では、ラーニングセンターを設置し、基礎学力やレポート、プレゼンの指導などを行っています。聖学院が面倒見の良い大学と言われる理由も

※GPA:Grade Point Average の略。科目ごとの成績から算出された数値の平均による学習成果の評価方法。



大和昌平学部長

残念ながら本学にもそのような学生はいますが、毎年いるわけではありません。本学は奨学金をかなり手厚く用意しており、特に社会人を経て入学してきた教会教職専攻や大学院の学生は親のサポートが無い場合が多いので、奨学金を充実させています。また、時代の変化に対応できるように、常に奨学金の種類や

対象が適切かどうか奨学金委員会を中心に検証しています。  
山口 本学の奨学金はすべて給付で、貸与奨学金は現在ありません。学内の給付奨学金と日本学生支援機構による貸与奨学金の両方を受給している学生が多くおります。

田邊 総合的なものの見方を養うことは非常に重要だと思います。  
小林 本学では、大学改革に取り組んでいる途上ではございますが、今回の田邊さんからのお話、聖学院での取り組み事例は非常に示唆に富んだものでした。今後ぜひさまざまなレベルでの交流をさせていただき、ともにキリスト教世界観に立った人間の育成に取り組みむことができれば幸いです。今日は本当にありがとうございました。

このようなところにあると思っ  
山口 本学では、各寮に寮主事  
境は非常に良いですが、すべて  
ちも試行錯誤しながら学生をサ  
トしていただきますので、聖学院  
でも励みになります。  
田邊 教育というのは、教えること  
寮生活で、自分で気づくこと  
さんあると思います。ですから寮  
育は素晴らしいですね。

## 学生への 経済的サポートについて

小川 話は変わりますが、今回は奨  
学金についても評価をされました  
はどのようにされていますか。  
田邊 聖学院では、全額給付奨学金  
はそれほど多くありません。ただ、実

田邊 ICUでは経済的に困難を覚  
えて退学を余儀なくされる学生は  
おりますか？  
大和 残念ながら本学にもそのよう  
な学生はいますが、毎年いる  
わけではありません。本学は  
奨学金をかなり手厚く用意  
しており、特に社会人を経て  
入学してきた教会教職専攻  
や大学院の学生は親のサポ  
トが無い場合が多いので、奨  
学金を充実させています。ま  
た、時代の変化に対応できる  
ように、常に奨学金の種類や

田邊 総合的なものの見方を養うこ  
とは非常に重要だと思います。  
小林 本学では、大学改革に取り組  
んでいる途上ではございますが、今  
回の田邊さんからのお話、聖学院  
での取り組み事例は非常に示唆に  
富んだものでした。今後ぜひ  
さまざまなレベルでの交流を  
させていただき、ともにキリス  
ト教世界観に立った人間の育  
成に取り組みむことができれば  
幸いです。今日は本当にありが  
たしかったです。



山口陽一研究科委員長

田邊 教育というのは、教えること  
寮生活で、自分で気づくこと  
さんあると思います。ですから寮  
育は素晴らしいですね。

田邊 総合的なものの見方を養うこ  
とは非常に重要だと思います。  
小林 本学では、大学改革に取り組  
んでいる途上ではございますが、今  
回の田邊さんからのお話、聖学院  
での取り組み事例は非常に示唆に  
富んだものでした。今後ぜひ  
さまざまなレベルでの交流を  
させていただき、ともにキリス  
ト教世界観に立った人間の育  
成に取り組みむことができれば  
幸いです。今日は本当にありが  
たしかったです。

卒業生の声



多読での成長  
●  
国際キリスト教学専攻  
卒業  
芦名勝利

本学で学んだことはたくさんありますが、その中でも特に自分を大きく変えた多読について書いていきます。

多読とは簡単な英語の本をたくさん読むという方法で、英語を習得するために始めました。ですが多読を続けていくうちに、英語力以外のものもたくさん得られました。その一つは段階的に成長していくという考えを持つことができたことです。簡単な本から読んでいくことで徐々に難しい本が読めるようなる多読のように、自分の能力をみながら気軽に楽しく学んでいく方法が最も自然で効率の良い方法だと思えるようになりました。私は本学で英語のために勧められた多読は、単なる英語のためのものではなく、人生論にも適応できるほどすばらしいものだと思います。多読は私自身も大きく成長させたと思います。

在学中は特に言語習得や多読のことばかり考えてきました。これからはしっかりと聖書の価値観の土台をもつて、神様との関係を持ちながら多読を用いて歩いていこうと考えています。



もっと挑戦して  
成長したい  
●  
国際キリスト教学専攻  
卒業  
西岡牧葉

学校生活では、委員会や寮での働きに関わることで、リーダー・メンバー・友・先輩として責任を持ち、人をまとめリードを取り、やる気を引き出し、制度や環境を整え、メンバーの交わりを考え、一人一人を良く見極め仕事を割り振り、こまめに声をかけ、寄り添い、いろんな角度から仕えていくことを学びました。すべて二人でやるのでなく、主により頼みつつ、人々と共に助け合って乗り越えていくものと教えられました。

学校の学びと短期留学などを通しては、世界の広さ・豊かさ・問題の多く深いことを学びました。私は自分の小さな問題につまずき、世界の大きな問題に立ち往生しました。それでも私を選び導き育ててくださる神様の存在により頼むことを教えられ前を向けるようになりました。主が導いて下さるから、生涯主に従い、主に仕えるしもべとしてもっと挑戦して自分を磨いていきたいと素直に思えるようになったのが何よりも成長だと思っています。



個人を見る  
視点  
●  
キリスト教福祉学専攻  
卒業  
岡本みちる

TCUでの友人や留学生、介護実習での出会いを通して「人間の多様性」を体験的に学んだことは、私自身の視野を広げ、成長させてくれるものでした。

介護福祉の学びを通して、食事睡眠入浴排せつという生活の基本的なことが人間が生きるうえで必須である事を学びました。また身体ケアだけでなく心理、とくに魂のケアが重要であると学びました。介護実習を通して高齢の方や障がいを持つ方に対して、障がいではなく、その人「個人」を見る視点をもちよう気づかされたことは大きな財産です。

学生生活においては、人と人を結ぶための場づくりに興味を持ち、カフェの企画・運営に取り組みしてきました。留学生と共に企画する際、言葉が全て通じなくても一緒に作業することで絆が生まれると体験しました。また、彼らの文化や背景を理解した「通訳」間に立つ人の重要性も知りました。

これらの経験を卒業後の福祉現場で活かし、人と人をつないでいく働きをしていきたいです。



様々な  
経験によって  
成長した4年間  
●  
キリスト教福祉学専攻  
卒業  
木暮 新

4年間という時間はあっという間に終わってしまいました。ふと、思い返すといろいろな思い出とともに成長してきた自分がいました。入学した当初、私の所属していた福祉専攻には一人しかいなかったのが四人まで増え、仲間を支えられた経験もしました。アルバイト先の福祉施設では授業で習った精神を実践することもできました。また、寮長を2〜3年の時にさせていただき、サーバントリーダーシップについても学ぶことが出来ました。そのほかにもチャペルや日々の教会生活で信仰も成長したと思います。挫折や自分の欠け、それからの無力感などもいくつも味わいましたが、その時にこそ神様がいてくれて何とか卒業することが出来るまでに至ったと感じます。最後に一言、「世界には嫌なことも、悲しいことも、自分だけではどうにもならないこともたくさんあるけど、神様がいるから、くじけない。あきらめない。愛してくださる神様がいるのだから、何度でも立ち上がる！ だから、クリスチャンは絶対、負けないんだ！」



行かなければ  
分からなかった韓国

国際キリスト教学専攻4年

### 服部真歩

私は、冬学期の3ヶ月間、韓国異文化実習を行い、延世大学韓国語語学堂にて韓国語を基礎から学び、実生活において実践することができました。韓国

では、たぐさんの「なんで？」にぶつかりました。例えば、下宿先の管理人のおばさんは私のことを「イルボンハクセン(日本学生)」と呼びます。一か月経っても日本学生!と呼ぶので不愉快に思っていました。が、韓国人の人からそれは「肩書社会」の影響だと教えられました。昔の韓国は韓服(韓国の伝統的な服)の色や柄、帽子の大きさなどで示される階級の名前で呼び合うことが多かったそうです。その文化の名残が今もあるため、そのおばさんは私のことを名前ではなく肩書きで呼んだのです。

このような経験は他にもあります。実際にその国に住み時間を共に過ごし、互いの感情を分かち合うことで、異なる視点や考え方を得る。それが本当の異文化理解なのだと思ひました。その上ではじめて、心から韓国を愛せるようになるのだと思います。



### 岩田三枝子准教授

教会 日本キリスト改革派勝田台教会  
主な学歴 東京基督教大学神学部国際キリスト教学科、東京基督神学校 (M.Div.)  
カルヴィン神学校修士 (Th.M.)、キリスト教高等研究所 (M.Worldview Studies)  
専門分野 キリスト教倫理、キリスト教世界観  
担当科目 キリスト教世界観、異文化理解入門



### 中澤秀一教授

教会 イエス福音教団渥美キリスト教会  
主な学歴 仏教大学社会学部社会福祉学科(社会学士)、兵庫教育大学学校教育研究科(学校教育学修士)  
専門分野 介護福祉教育、高齢者福祉、ケアマネジメント  
担当科目 介護福祉概論、介護過程、実習指導(介護総合演習)

## 国際キリスト教福祉学科長に中澤秀一教授が就任

2016年4月から国際キリスト教福祉学科長に中澤秀一教授が就任しました。中澤先生は、元プロ野球読売巨人軍の選手という異色な経歴の持ち主で、球団を辞めた後に福祉の道に進み、並外れた努力で学びと教歴を積み重ね、2009年より本学で教鞭を執っています。これまでもキリスト教福祉学専攻長を務めていましたが、2016年度からは学科長も兼任することになりました。

### ごあいさつ

国際キリスト教福祉学科長・キリスト教福祉学専攻長 中澤 秀一

「個人の尊厳を支える」とは、有限の生命(いのち)と同時に永遠に生きる命(いのち)をも支えることを意味します。TCUの学びには、個人の「存在する意味」や「大切な価値観」を尊重する心を育てる力があります。今後もお祈りをよろしくお願いいたします。

## 国キ卒業生の岩田三枝子准教授が国キ専攻長に就任

2016年4月から国際キリスト教学専攻長に岩田三枝子准教授が就任しました。岩田先生は、1998年に国際キリスト教学科(現・国際キリスト教学専攻、略称・国キ)を卒業、その後、東京基督神学校、カルヴィン神学校などを経て2004年から本学講師として教鞭を執っていました。最近では賀川ハルの研究をはじめとした女性運動の研究でも活躍しています。このたび、国キ卒業生の国キ専攻長が誕生しました。

### ごあいさつ

国際キリスト教学専攻長 岩田三枝子

これまでに築き上げられてきた国際キリスト教学専攻(愛称・国キ)の良きプログラムを受け継ぎつつ、国キ教員がチームとして、学生一人一人の賜物を生かしていく専攻としていきたいと願っています。



寮生活での恵み  
●  
神学科神学専攻卒業  
浜岡みのり

TCUでの学びと訓練をふり返る時に、何と言っても「寮生活」は絶対に欠かせません。最初の2年間は寮が嫌いでした。なぜなら、同じ信仰者でありつつ、でも違いのある他者を受け入れられなかったからです。しかし、心のどこかにあった自分こそ正しい、優れているという思いが打ち砕かれていき、自分がいかに罪深い者であるか、寮生活を通して気づくことができました。そして、値なき自分にキリストの愛で愛を注いでくれた寮生を通して、主のあわれみと恵みをより一層覚えることができ、今となつては寮が大好きで仕方ありません。

寮生活だからこそ、こんなにも、自分にも、そして神様にも向き合えたのだと思います。他者を理解し、自分を知り、そして神様の偉大さを思い知らされていく、とても貴重な時間を過ごせたことを幸いに思います。

卒業後は、高校生聖書伝道協会(H.P.S.)スタッフとして仕えますが、寮生活で培った愛をもって仕えていきたいと願っています。



幸いを見つめて  
●  
神学科教会教職専攻卒業  
高橋 渉

福音に学び、福音を生きる訓練をさせて頂いたこの2年間の幸いな学びの日々を主に感謝いたします。授業が難しく付いて行けずに落ち込んだり、牧師に求められるものの大きさにたじろいだり、家庭生活においても反省するところがしばしばありましたが、自分の限界と弱さを受け入れつつ精一杯を主にささげることが学び、の前にへりくだることの平安を知る訓練の時となりました。早天祈禱会やチャペルで、絶えずみことばにふれられる環境で「なぜ自分がここににいるのか」を確認する度に幸いを覚えて、平安が与えられました。続く大学院での学びと訓練に期待します。

諸教会の兄弟姉妹が祈りとご支援をもって、共に献身の道を歩んで下さっていることを心から感謝しつつ…。

「なんと幸いなことでしょう。あなたの家に住む人たちは。彼らはいつも、あなたをほめたたえています。」

詩篇84篇4節



大学院での  
学びと祈り  
●  
大学院博士前期課程  
神学研究者・教育者コース  
修了  
シモムラ慶子

大学院での2年間の学びを通して、自分の中で様々な変化と成長がありました。それは、特に、聖書の学びの面と、祈りの生活の面で、です。

TCUにおいては、福音主義に根差して聖書を学べたことが、自分にはとても感謝でした。それがゆえに、聖書への取り組みを、小手先仕事ではなく、まさに、全力と体当たりでこなす仕事のようにしなければ学びに追いつけない、と感じられることはしばしばありました。しかし逆にそれが楽しくもありました。しかし逆にそれが楽しくもありましたし、未熟ではあっても、未熟なりに多くのことを調べ、考察していく、このことの重要性をとても自覚するようになりました。また、多くの課題で大変な思いに覆われたとき、希望と喜びをもって祈ることができ、ひとつひとつ乗り越えることができました。ここでは祈りの答えを得るのに忍耐を学ばせられました。

TCUでの学びと祈りの歩みを、今後の歩みに生かしていきたいと思えます。



ここで聖書を読む  
という学び  
●  
大学院博士前期課程  
教会教職者コース修了  
吉持尽主

私は高校卒業後、TCUに入學し、その後大学院まで学びを進め、TCUで6年間を過ごしました。TCUで学んだことは、本当にたくさんあります。その中で、最も重要だと思わされていることは、ここで聖書を読むことができたということです。TCUは多様性に満ちた学校です。人種や国籍、文化、教団、教派、年齢、立場など、様々な違いがあります。しかし、そのような多くの違いがある人たちが、同じ聖書信仰に立って聖書を読む。これは、私にとって重要な体験であり、特別な学びでした。様々な違いがあつたとしても、一つの神を信じていて、その確かな神のことばの前に生きていこうとしている。このことを6年間何度も実感させられてきました。そこから、その素晴らしさやその厳肅さを思わされました。TCUでの学びは終わりましたが、多様性の中で神のことばと向き合う素晴らしさ、厳肅さをこれからも学び続けていくことができたらと思わされています。



## 卒業生・修了生の声

教会音楽の歴史の変遷、変化を知りたいとの願いがはからずも叶えられ、私はシニアの通学生になりました。講義、クワイア、実技レッスン等多く学ばせていただけたのです。チャペル、春のsprinking・リトリート、シオン祭コンサート企画から実現までの責任、小グループチャペルでの担当教員との個人的な接点、昼食時の食堂でのシニアたちとの情報交換、教会実習での牧師先生よりのご指導と教員との交わりなどは、私に価値ある宝となりました。本学での学びを通して一番変えられたのは「私自身」です。私のキリスト者としての心の真ん中が変わりました。「神がすべてのことを働かせて益としてくださる」(ローマ8章28節)との御言葉が本当だと学園生活を通して体験できた神様と先生方、皆様に感謝でいっぱいです。

八十路とは如何なる途ぞ

緋桃咲く

暁子



学生生活を通して  
変えられたこと

教会音楽専攻科修了  
西田暁子



菊池実准教授

教会 日本同盟基督教団八千代  
聖書教会牧師

主な学歴 法政大学文学部史学科、  
東京基督教短期大学神学専攻科、  
エルサレム大学院大学(聖書歴史学)

専門分野 歴史地理、ハレスチナ考古学  
担当科目 旧約聖書概論、聖書考古学、  
ヘブライ語、歴史学、神学演習

## 神学科長に菊池実准教授が就任

2016年4月から神学科長に菊池実准教授が就任しました。菊池先生は、TCUの前身校である東京基督教短期大学を卒業後、エルサレム大学院大学で聖書歴史学を修め、本学で専任としては1997年から教鞭を執っておられます。引き続き、大学院神学研究科委員長は山口陽二教授、神学部長は大和昌平教授が就任しました。

### ごあいさつ

私？ 自身一番驚いています。私の関心は聖書とその背景、礼拝とその生き方のみ。しかし、それが建学の精神に重なる部分であるなら、共に聖書から実践へのトータルな神学の喜びを目指したいと願います。お祈りいただけましたら幸いです。

神学科長 菊池 実

## 2015年度博士前期課程修了者進路

黄 最 鉉	ジヨイル教会(韓国)・日本宣教師準備
古 島 正 樹	日本同盟基督教団 藤代聖書教会(教師候補者)
原 田 真 満	未定
趙 炫 緒	日本同盟基督教団 塩尻聖書教会
金 戊 峴	大韓イエス教東京福音教会
李 正 美	巨理家の教会 協力宣教師
李 京 爽	日本同盟基督教団 館山教会
永 井 創 世	本学博士後期課程進学
中 谷 献 一	日本同盟基督教団 徳丸町キリスト教会・本学非常勤講師
関 優 香 理	日本伝道福音教団 富山福音キリスト教会
シモムラ 慶 子	名古屋クリスチャンセンター
豊 島 集 司	日本福音自由教会協議会クライストコミュニティ北九州チャペル、 社会福祉法人カリタスの園「天使育児園」
和 田 一 郎	日本カンパウンド長老教会 高座教会
山 下 真 実	日本バプテスト連盟 常盤台バプテスト教会
吉 持 尽 主	日本同盟基督教団 茨木聖書教会
吉 村 恵 理 也	日本同盟基督教団 下北沢聖書教会





## 在学生の母が見送る卒業式

2016年3月11日に行われた本学春期卒業式で、国際キリスト教学専攻を卒業した加藤美杏香さん。その姿を見つめる母・恵子さんは、本学神学科シニアコース1年生。お二人にインタビューをしました。

卒業おめでとうございます。4年間を振り返って一番印象に残っていることは？

美杏香: たくさんの経験をして、どれが一番かは難しいです。

海外語学研修や寮生活、人形劇サークル、委員会、どれも自分を成長させてくれました。

恵子: 本当に成長したと思います。考え方において大人の人間になりました。

この1年間は、母と子で同じキャンパスで学びましたが、どのような感覚でしたか？

美杏香: 同じ授業を受けたこともあったのですが、意外と気になりませんでした。

恵子: 娘の授業での発言などを聞いたり、授業後に話したりすると、親子でも考え方が違うことがあり、とても新鮮でした。

家庭と学び舎で二人の距離や関係に違いはありましたか？  
恵子: 私は特に違いは感じませんでした。意外と自然な感じだったと思います。

美杏香: 当初、私はキャンパスでは一学生として接しようとか考えていたのですが無理でした。逆に、母は家でもレポートや試験のことを話すので、家で学生、キャンパスで母を感じるという不思議な感覚でした。それぞれの卒業後のビジョンを教えてください。

美杏香: 私は4月から病院のチャプレンとして、終末期の患者さんのスピリチュアルケアの働きをします。その後、時が来たら教団の神学校に進み牧師になりたいと思っています。

恵子: 私はまだ分かりません。まずはこの4年間で十分に学びながらその後の働きを描いていきたいと思っています。

## 新入職員紹介

本学事務局での働きを始めた二人の新入職員を紹介します。根岸幸加氏は教会スタッフでの働きを経て2015年12月から教務課で勤務しています。神田結実子氏は2016年3月に本学神学科を卒業して4月から総務課で勤務しています。

### 神田結実子 (総務課)

TCUの学生から職員へと立場が変わりました。どんな時にも誰かの助けや励ましや祈りに支えられた学生生活でしたが、相変わらず支えられつつ、学生に寄り添い支える働き手となっていきたいと願っています。



### 根岸幸加 (教務課)

新しくTCUに入職いたしました根岸幸加です。教務課に配属され、先生方や学生達との交流の中でとても新鮮な毎日を過ごしています。TCUがますます豊かに主に用いられるよう祈りながら、これからも尽力して参ります。

## 2015年度卒業生数

神学部33名 <内訳>神学科24名(神学12名、教会教職10名、シニアコース1名、ACTS-ES 1名)  
国際キリスト教福祉学科9名(国際4名、福祉5名)

教会音楽専攻科1名  
大学院(修士課程)16名

## 2016年度入学者数

神学部 一年次入学36名  
<内訳>神学科20名(内ACTS-ES 9名)、  
国際キリスト教福祉学科16名(国際9名、福祉7名)  
二年次編入学1名(国際キリスト教学専攻)  
三年次編入学11名(神学科)  
教会音楽専攻2名  
大学院博士前期課程(修士課程)13名  
大学院博士後期課程(博士課程)1名

## 2016年度教員人事 (★印が新任)

神学部長 大和昌平  
大学院神学研究科委員長 山口陽一  
教務部長 岡村直樹  
学生部長 伊藤明生★  
神学科長 菊池 実★  
国際キリスト教福祉学科長 中澤秀一★  
国際キリスト教学専攻長 岩田三枝子★  
キリスト教福祉学専攻長 中澤秀一  
国際宣教センター長 倉沢正則  
図書館長 山口陽一★  
共立基督教研究所長 稲垣久和

## クリスマスコンサート報告

# Christmas & Graduation Concert

教会音楽主任 宇内 千晴

12月18日(金)、恒例のクリスマスコンサートが温かい雰囲気の中で行われました。今年のプログラムは、オルガン連弾から始まり、声楽ソロ、ピアノソロ、クワイア、トーンチャイム、そして最後はTCU管弦アンサンブルと一緒に聴衆の方々が讃美歌を歌う、という多彩な内容となりました。ここ数年、ご来場下さる方が増えています。今年は「らーばんねっと」さんが、事前に練習風景を録画し、放映して下さったこともあり、昨年より多い、約320名のお客様をお迎えすることが出来ました。また、株式会社千葉ニュータウンセンターと玉の肌石鹸株式会社の2社様から協賛を頂き、さらには印西市と印西市教育委員会の後援を頂き、いつも以上に大勢の方々に支えられてのコンサートとなりました。残された多くのアンケートにも「とても良かった」と書かれており、関係者一同、大変励まされました。この場をお借りして、心から御礼申し上げます。お祈りありがとうございます。

## 日本宣教リサーチ「震災と信仰」調査

日本宣教リサーチ代表 山口 陽一

設立2年目の「日本宣教リサーチ」は大忙しでした。一年をかけ、東日本大震災が被災地の人々の「信仰」に与えた影響を調査する「震災と信仰」調査プロジェクトを実施しました。「震災と信仰」に関するアーカイブズを遺したいという宮城宣教ネットワーク大友幸一牧師の思いを、日本福音同盟(JEA)の品川謙一総主事が本学に繋いで下さり、日本宣教リサーチがこれを引き受けました。宮城宣教ネットワーク「被災地研究所」、JEA、アジアアクセス、そして東京基督教大学の四者が資金を供出して「震災と信仰」調査プロジェクトを行いました。ホイートン大学人道的災害支援研究所D・ボン教授の協力もありました。具体的には、日本宣教リサーチの柴田初男氏によるアンケート調査と、アジアアクセスのヒューレット柳澤えり子氏によるインタビュー調査です。双方とも大変興味深い内容で、2015年11月宮城・アジアアクセス、2016年2月本学・教会教職特別セミナー、3月東京・国際神学シンポジウムで中間報告を行い、現在、最終報告書を準備中です。

もう一つは、今年の日本伝道会議(9月27~30日)の「日本宣教170>200」プロジェクトです。ベッテルハイムの琉球伝道から170年の今年、これまでの宣教データをまとめ、これから30年の日本宣教を考えるためのデータブックを作成する企画です。特にこの30年の新しい傾向を捉えるため、ディアスポラ宣教や青年宣教、災害対応、地域に開かれた教会などのプロジェクトとタイアップし、日本宣教を志す人が知るべきデータを集積して分析しています。これは伝道会議までに出版の予定です。

以上に加え「日本宣教ニュース」5・6・7号を発行、本学ウェブサイトに掲載しました。これらの働きは、日本宣教リサーチへの支援献金によって行われていますが、日本宣教リサーチ専門委員柴田初男氏の無償の働きに負っています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 卒業・修了記念コンサート

本学講師 内藤 真奈

毎年大変寒い時期になりますが、2月にしては暖かく感じられた12日(金)の夜、恒例となりました、卒業・修了記念コンサートが開催されました。今回は、卒業を前にした6名の学生たちが、ギター、オルガン、声楽、ピアノを演奏いたしました。それぞれが、レッスンで良き指導を受け、神様が与えてくださった音楽という賜物を磨いてきた輝きに満ちた姿に、一同が励まされました。コンサートの準備にあたり、重ねられたそれぞれの努力、経験は、ただ主を仰ぎ、ほめたたえられるために豊かに祝され用いられました。

また、情熱にあふれたクワイアの賛美が主にささげられ、会衆もともに、主をほめたたえました。

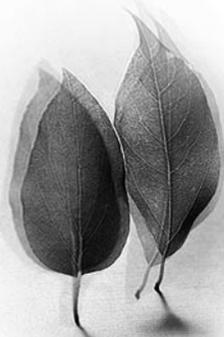
これまで祈り支えてくださったご家族やご友人、教会の方々、在学生、卒業生、教職員が温かく見守る中、ともに主の御名をあがめる素晴らしい時となりました事を心から感謝し、報告いたします。



## TCUウェブ講義始まる

2015年12月にTCUウェブ講義が、本学Youtubeチャンネルにおいて始まりました。最初の講義は、稲垣久和教授による「宇宙の目的」全4回シリーズです。この取り組みは、本学のキリスト教世界観に立った教養、神学、国際関係、英語、福祉などの教育コンテンツを広く公開することで、より多くの方の学習の機会として活用してもらいたいという願いから始まりました。今後、コンテンツの内容を充実させていきますので、ぜひ期待をもってご覧ください。(アドレス) <https://www.youtube.com/tokyochristianuni>





# 卒業生からの 手紙



## いさおなきわれを

2002年TCU神学科卒、加茂福音キリスト教会牧師

**神山 良信**  
(Kamiyama Yasinobu)

現在、私は新潟県の加茂市にある教会で牧師としてお仕えしています。12年前、無牧であったこの教会に来ることになったのは、ひとことで言えば主なる神のあわれみのゆえです。

私は98年にTCUに入学し、学びを深めるにつれて教会職への思いが強くなりました。しかし卒業後はその思いをいったん横に寝かせて、実家のある宇都宮で新聞配達の仕事に就きました。日夜、配達と営業、集金に追われ、かなりの無理を体に強いたと思います。そんなある日のこと、配達中に乗用車と正面衝突してしまい4ヶ月の入院と半年間のリハビリ生活を送ることになりました。その時にはじめて友人(TCUの先輩)を通して「無牧の教会があるから祈ってほしい」と、加茂の教会の話を知りました。当時、私は目標を失い、失意に暮れ、教会で仕える喜びも神に対する期待も忘れかけていました。しかし主なる神はもう一度、みことばをもって取り扱ってくださったのです。「いさおなきわれをも死をもって贖われた」イエスのあわれみを思い起こします。

現在、加茂でお仕えすることになって11年目を迎えました。人口3万人ほどの小さな町であり、40人前後の礼拝者数で、会員の40%が70代です。私が赴任した当初は子供がゼロで教会学校の働きが行われていませんでした。しかし主のあわれみの中、クリスチャン家庭が与えられ、教会学校、土曜子供会、子育て支援の働きなど次世代へのバトンを繋ぎ、様々な可能性を拡げつつあります。「この町にはわたしの民がたくさんいるから」という主の御声に伺いつつ、宣教の前進を目指していけたらと願っています。

## ブラジル宣教39年

浩之:1975年日本基督神学校卒業・文代:1972年共立女子聖書学院卒業  
南米宣教会ブラジル派遣宣教師  
オザスコ教会教会と奥地巡回伝道

**佐藤 浩之・文代**  
(Sato Hiroshi) (Sato Fumiyo)

私が学ばせていただいた当時、神学校は東久留米市にありました。著名な教授たちから内容の濃い授業を受けて、神学の学びに目が開かれました。妻の文代(旧姓金子)は世田谷中央教会の出身で、共立女子聖書学院の卒業生です。結婚後は3年間ほど相模原市の開拓伝道に従事しました。

1977年に主の導きで門戸が開かれて、南米宣教会からブラジル宣教に派遣されました。そこは私が救いと献身に導かれた親しみのある国です。当時からブラジルには150万人以上の日系人が住んでいましたので、私の使命は日系人伝道でした。

この39年間に、ルーヂラモス教会、ガルーリョス教会、オザスコ教会で開拓伝道をさせていただきました。今はサンパウロ州オザスコ市の教会で宣教中ですが、最近では牧師不足の深刻な影響で、奥地の無牧教会から巡回伝道を依頼されることが多くなりました。

私の家族は夫婦と息子三人です。彼らは信仰を継承し、それぞれの教会で活躍しています。私は73才の今も現役宣教師を続けていますが、次第に体力の衰えを感じて、2年後には引退することを決めています。私の願いは、後続の宣教師が日本からブラジルに派遣されることです。一世には日本語で、二世にはポルトガル語で宣教できる方を希望します。現地では小さな日系人教会が全国に100教会近くありますが、極端に牧師が不足しています。「収穫は多いが働き手が少ない」状態が続いています。どうか同窓生の皆様、ブラジル宣教のためにお祈り下さい。もしブラジル宣教に重荷を感じている方がいましたら、私にメールをお送りください。  
< prhiroshisato@gmail.com >

# 支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5  
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp



## 第5回全国会議が行われました

3月28日に本学国際宣教センターを会場にして、第5回TCU支援会全国会議が行われました。現在、北海道から沖縄まで14地区でTCU支援会が立ち上がり、各地区とTCUとの相互支援が行われていますが、今回の会議には準備中の群馬地区から宗田信先生(高崎福音キリスト教会)も加わり活発な意見交換がなされました。

各地区の特性が表れた活動内容が報告され、いかに多くの方にTCUをアピールするか、創意工夫をされている様子からその熱意が伝わってきました。また、TCUがその地域の教会と社会にどのように貢献できるかという視点で、廣瀬薫TCU支援会長(本学理事)からは「ぜひTCUを活用してほしい」という意見が出されました。

そのように、TCU支援会は「TCUを支援する」という一方的な働きではなく、お互いに支援しあう働きです。2016年度も全国で神の国が前進していくことをめざして活動していきます。



左から岡村直樹教授(ユースミニストリー)、スズキ知恵子氏、川口竜太郎氏、小林高德学長

## hi-b.a.とTCU支援会との連携について

今年の全国会議では、hi-b.a.(高校生聖書伝道協会)から川口竜太郎氏(同協会代表)とスズキ知恵子氏(同協会スタッフ)が出席しました。同協会は、すべての高校生に福音を伝えることを理念とし、2050年までに全国47都道府県に定期集会を作ることを目指しています。川口氏は会議の中で、TCU支援会の各地区と連携し、ともに地域の高校生伝道に仕えていきたいとあいさつをされました。

具体的には、地域の高校生伝道の拠点となる教会や人の紹介、地区でのTCUのつどいにおける同協会の働きの紹介などが提案され、2016年度の活動において互いに協力することが確認されました。hi-b.a.とTCU支援会の連携が、日本の高校生伝道の前進のために用いられるようお願いをくだされば幸いです。

## 寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

### 所得税の寄付金控除

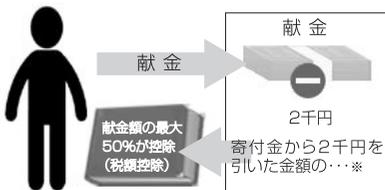
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

### 所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

### 税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりまして、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。

### 便利な定期献金のご案内

#### ●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円～

TCUウェブサイトの下「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master対応のカード引落しによるものです。

#### ●郵便局自動引落(定期献金)月々500円～

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

#### 【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

## 『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2015年度(2015年4月～2016年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』

は、3月末までに1034の支援者の皆様より、5,833万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

## 献金感謝報告

尊いご献金ご加禱、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2015年10月1日から2016年2月29日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

### 大学献金

- JCFN日本事務所/Nampo Church/MPM@NAGOYA2/TCU1983卒クラス会/TCUのついで/愛知キリスト教会/朝霞聖書教会/旭キリスト教会/麻布霞町教会/足立愛の教会/足立キリスト教会/安城中央キリスト教会/姉ヶ崎キリスト教会/五十嵐キリスト教会/井萩福音キリスト教会/活けるキリスト二麦教会/生駒めぐみ教会/石川地区学園デー/和泉福音教会/市川バプテスト教会/市川グレイス教会/市原平安教会/五日市聖書教会/祈りのコンサート/茨木聖書教会/いわきキリスト教会/磐田キリスト教会/内灘聖書教会/宇都宮聖書バプテスト教会/浦和友の会/浦和福音自由教会/宇和島南伝道所/枝川愛の教会/海老名シオンの丘教会/近江福音自由教会/岡山友の会/福川福音自由教会/春日部福音自由教会/金沢キリスト教会/金沢独立キリスト教会/株式会社ノア/上大岡聖書教会/亀田キリスト教会/軽井沢キリスト教会/川越福音自由教会/カンパウンド長老キリスト教会/日本中会/北秋津キリスト教会/北松戸福音教会/衣笠中央キリスト教会/岐阜キリスト教会/希望が丘教会/希望キリスト教会/行徳キリスト教会/京都聖書教会紫苑の会/共立基督教研究所/共立研修センター同窓会/清瀬福音自由教会/近隣五教会合同壮年会/鎌ヶ谷教会同/久遠聖書教会/久喜福音自由教会/釧路キリスト福音館/くすは聖書教会/国立のぞみ教会/クワイーストコミュニティ/久里浜福音教会/久留米聖書教会/グレイス宣教会香芝チャペル/黒部キリスト教会/恵泉キリスト教会みどり野チャペル/恵泉女子学園中学・高等学校/恋が窪キリスト教会/高橋生聖書伝道協会(h.b.a.)/高座教会/甲府キリスト福音教会/小海キリスト教会/古河キリスト教会/小倉中央教会/五香教会/小平聖書キリスト教会/湖北パークサイドチャペル/西
- 大寺キリスト教会/佐倉王子台チャペル/桜が丘キリスト教会/佐渡金井キリスト教会/サムエル幼児園/サンライズ教会/シオン祭礼CU支援会/匿名/鹿本キリスト教会/志木新座めぐみ教会/静岡地区学園デー/静岡めぐみ教会/静岡新生キリスト教会/渋谷教会/下馬福音教会/下北沢聖書教会/シャローム株式会社/自由ヶ丘めぐみ教会/招待キリスト教会/白井聖書教会/新鎌ヶ谷聖書教会/新札幌聖書教会/新松戸福音自由教会/菅生キリスト教会/杉並教会/鈴鹿キリスト教会/ゼエバンゼリカル・アライアンス・ミッショ
- ン/聖書教会/西武柳沢キリスト教会/世田谷中央教会/千住キリスト教会/セント国際宣教会/草加福音自由教会/高岡福音キリスト教会/高田ファミリースタイル教会/高槻福音自由教会/高松キリスト教会/高松シオン教会/館山教会/玉川上水キリスト教会/多摩教会/多摩エータウンキリスト教会/たまプラーザキリスト教会/千葉北総教会/津島佐織キリスト教会/津田沼教会/土浦めぐみ教会/津豊ヶ丘キリスト教会/手打ち蕎麦亭なるほ/東京キリスト教学園同窓会/東京国際基督教会/東京聖書学院/東御キリスト教会/東林聖書キリスト教会/徳丸町キリスト教会/所沢聖書教会/苫小牧福音教会/富山聖書教会/豊川中央キリスト教会/豊栄キリスト教会/豊橋ホサナキリスト教会/取手聖書教会/中津聖書教会/長津田キリスト教会/長野地区TCUセミナー/長野福音教会/長野キリスト教会/名古屋福音自由教会/名古屋南福音自由教会/那覇バプテスト教会/並木キリスト教会/成瀬教会/新津福音キリスト教会/西船橋キリスト教会/日本キリスト教団埼玉地区社会委員会/日本キリスト教団埼玉事務局/日本聖契キリスト教団/日本聖約キリスト教団/日本長老教会神奈川中会/日本長老教会神奈川中会教育委員会/日本長老教会東京中会/日本長老教会武蔵中会/日本長老伝道会/日本同盟基督教団関東宣教師会/日本同盟基督教団九州宣教師連合婦人会/二本松福音の家教会/日本メソヂイストキリスト教会会議/練馬神の教会/練馬教会/のびどめキリスト教会/波崎キリスト教会/蓮沼キリスト教会/浜田山キリスト教会/浜松中沢教会/東吾野キリスト教会/東久留米泉教会/東小金井教会/東広島めぐみ教会/東大和刈穂キリスト教会/ひたち光教会/日立福音キリスト教会/フィンランド/ルーテル宣教会/福岡・山口地区学園デー/福岡めぐみ教会/仏子キリスト教会/府中西原キリスト教

会／古川教会／平和台教会／望池聖書教会／本郷キリスト教会／前橋キリスト教会／町田金井バプテスマ教会／町田聖書キリスト教会／町田南キリスト教会／松原湖バプテスマ教会／松原聖書教会／馬堀聖書教会／水海道シヤーム教会／南柏聖書教会／宮崎南教会／宮園キリスト教会／八栗シオンキリスト教会／谷田部キリスト教会／八街キリスト教会／八街福音キリスト教会／八千代聖書教会／大和郡山めぐみ教会／山の下福音教会／谷原キリスト教会／ゆりのきキリスト教会／洋光台キリスト教会／横浜岡村教会／横濱シオンキリスト教会／横濱女子学院中学校高等学校／横濱永谷キリスト教会／横濱白山道教会／横濱山手キリスト教会／株式会社創世ライフワークス社／リビングチャペル／蕨福音自由教会／Nikang, Clovis, Mabeinai, Oiko Medina Bushuru Maraka / Rev. Jae Ioon Lee / 徐有珍／青木仁志／青木俊介／赤江弘之／昭代／赤坂啓子／赤坂美和／赤穂芳子／安黒拓人／浅井礼二／浅海幸弘／朝岡満喜子／朝岡勝／鯉坂正美／阿部伊作／阿部陽子／天賀谷崇／天賀谷美織／新井竜治／安西愈／安藤博之／千恵／伊井洋子／生龍俊／美代子／池上王士／桃子／池田アイ／池田雄一／詩保／石井健一／昭子／石原美智子／伊藤聡／伊藤天雄／伊藤義也／かわり／伊山輝男／糸山直恵／稲垣久和／稲葉裕／伊能悠貴／井上聡／直子／井上志乃／井上貴詞／井上洋治／由枝／今井夫／今井康／今田和子／今村弘子／入江喜久雄／直美／岩田順也／岩田三枝子／岩月順子／岩淵勲／岩間秀彬／植草功吉／上田利昭／内野雅之／稔子／宇都宮和子／宇内千晴／古林正語／江川あゆむ／江頭耿子／遠藤潔／禎子／遠藤美佐子／大内卓也／美樹／大久保宣満／大下由利子／大嶋義隆／大杉至／太田雅恵／大高市子／大瀧恵理也／和子／大塚之／大庭恵里／大橋秀夫／大森幹夫／岡忠義／岡田美子／岡田浩平／岡田雄／岡村又男／末子／岡森雅浩／ゆかり／岡山敦彦／小川政弘／奥村喜樹／小澤一／奥山礼子／小此内慎悟／小笹崇代／小澤紘一／才三／鬼塚弘通／啓子／小野喜美枝／小野幸信／小町継太／小町誠一／鍵合恵子／影山範文／加瀬真弓／片岡政子／加藤和子／加藤恵子／加藤望美／加藤真喜男／金山良雄／金城ふじ代／金田昭三／川崎晴美／川島敬子／川島祥子／川元久美／川本靖／木内伸嘉／菊池明日香／菊池美／菊池良一／真恵美／岸幸恵／北村富彦／環／木下幸治／木

下ドール／木下美鈴／金和弘／宮本奈緒子／金安信／木村和弘／満枝／木村美紀子／倉沢正則／多美子／クリフト／ヒター／黒川知文／匿名／黒田尚子／桑原淑行／賢賀英郎／向後秀雄／河野日佐子／國分正子／小崎啓子／児玉武志／直子／児玉智継／児玉光／照恵／児玉幸／小塚朝生／後藤ヨシ子／後藤弘／小林清幸／小林高徳／小林充尚／壽子／小林規子／小林宮子／小林悠／匿名／小和山幸平／雑賀とし子／斎藤潔／ますみ／坂口到／佐川英美／櫻井菊子／笹川雅弘／佐々木静／佐竹十喜雄／佐藤裕之／佐羽内玲子／簡子曼／塩見治子／信太紀二／篠田澄子／篠原哲二／篠原基章／柴田敏彦／恵子／柴田初男／柴田美枝子／渋谷俊雄／島裕子／島田務／弥生／島田治夫／嶋田玲子／清水尚子／城定千世子／白倉まり子／匿名／菅谷敬子／菅原好江／杉谷乃乃合／杉山年彦／杉山義也／鈴木幸子／薄佳志子／鈴木七絵／鈴木宣尚美／鈴木政則／鈴木美絵／鈴木洋子／ステパノ・ランクリン／関野祐一／妹山訓子／千田由美／仙浩一／高木弦／高梨雅子／高橋篤／高橋潤／差智子／高橋信希／高橋信子／高橋宣広／高橋伸幸／高橋哲子／匿名／高力弘郎／千鶴子／竹内豊志／武田順児／竹本喜代子／多胡真太郎／立石圭子／立山剛／田中恭子／谷井広樹／谷本栄治／澄江／谷本芳也／匿名／崔永燾／千葉秀悦／千葉澄子／塚田真理子／辻智恵／匿名／辻村潤子／筒井洋輔／光恵／寺田文男／原俊幸／森森登喜恵／富岡昇／富澤孝子／富所正史／外山節子／鳥井志乃／内藤昭治／ちよみ／内藤真奈／長石寛／永江尚久／桂子／中川洋佑／麻祐／中島伸一／中島誠／永田定昭／中田裕也／長橋和彦／中村千恵／永山治／那須正紀／菜花香／並木公子／並木孝之／成澤希仔子／西梅慎太郎／西村敬憲／麻利子／西村正隆／西山幸子／西山聖子／西脇達子／根上可奈子／根本信子／関谷欣也／野島Ienussou／聖美／萩原永子／蓮井智子／蓮尾英一／長谷川博／弘子／長谷部純司／長谷部秀英／畑和雄／花園文子／馬場志乃／馬場千晶／濱口義信／林明信／早見友雄／美江原豊子／千春／原裕昭／みはる／原田明美／原田靖彦／裕子／万城栄治／久美／万城紘一／子／東中喜彦／樋口邦彦／日名信介／平川光宣／えり子／平田卓也／平塚治樹／平野武男／登美子／平林英也／平原まさこ／廣瀬薫／美穂子／廣田眞之／洋子／フイリッパ・フォックスウエル／藤井正男／藤田正／藤田直樹／藤田文美子／藤原真規子／藤原美佐子／藤原導夫／智子／洲上律子／古川弘幸／蓬萊朱美／星山

正・英子／細谷潔／紀弥／堀井康子／堀内幸二郎／本間邦／本間恵子／本馬信義／前田里美／前田倫男／前山正夫／正子／増淵正恵／増山毅／松尾美代子／松田信一／松田節子／松永優／順子／松原正幸／丸山園子／匿名／圓山友子／三浦称／聖子／三川克己／三川京子／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／宮城妙子／三宅章之／宮腰貞子／宮崎淳子／宮原尚美／宮本京子／宮脇聡史／宮脇星児／栄子／虫明英雄／合子／匿名／虫明子／村瀬俊夫／持田浩次／森明夫／律子／森和亮／富喜子／森清／森恵子／守川初穂／森河万莉／森河裕子／森田和子／森田哲也／森本文子／森本祥子／森本憲夫／豊子／森本信幸／麻子／森本英利／森安仁美／森山洋子／諸江陽子／八木保夫／律子／家座多加治／輝子／谷中清子／柳沢美和子／柳下弘／数田三保子／山内慎也／山内史奈／山岡勝次／山川暁／山口陽一／大和昌平／山本和義／山本美富男／山本陽一郎／順子／山守博昭／横田義弥／横山清行／吉田篤／賜実／吉田満知子／吉永啓次／あや子／吉野弘子／吉村景子／吉持章／吉持日輪生／劉芽久美／若田部嘉代／若月誠／千鶴／和氣敏治／渡邊雅雄／渡邊美津子

正・英子／細谷潔／紀弥／堀井康子／堀内幸二郎／本間邦／本間恵子／本馬信義／前田里美／前田倫男／前山正夫／正子／増淵正恵／増山毅／松尾美代子／松田信一／松田節子／松永優／順子／松原正幸／丸山園子／匿名／圓山友子／三浦称／聖子／三川克己／三川京子／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／宮城妙子／三宅章之／宮腰貞子／宮崎淳子／宮原尚美／宮本京子／宮脇聡史／宮脇星児／栄子／虫明英雄／合子／匿名／虫明子／村瀬俊夫／持田浩次／森明夫／律子／森和亮／富喜子／森清／森恵子／守川初穂／森河万莉／森河裕子／森田和子／森田哲也／森本文子／森本祥子／森本憲夫／豊子／森本信幸／麻子／森本英利／森安仁美／森山洋子／諸江陽子／八木保夫／律子／家座多加治／輝子／谷中清子／柳沢美和子／柳下弘／数田三保子／山内慎也／山内史奈／山岡勝次／山川暁／山口陽一／大和昌平／山本和義／山本美富男／山本陽一郎／順子／山守博昭／横田義弥／横山清行／吉田篤／賜実／吉田満知子／吉永啓次／あや子／吉野弘子／吉村景子／吉持章／吉持日輪生／劉芽久美／若田部嘉代／若月誠／千鶴／和氣敏治／渡邊雅雄／渡邊美津子

◆大学院設立献金

鴻巣福音自由教会／志木新座めぐみ教会／新船橋キリスト教会／津豊ヶ丘キリスト教会／東京国際基督教教会／東大宮福音自由教会／みことば福音教会／阿久津康彦／新井龍治／栗野桂子／石井健一／昭子／岩田順也／宇内千晴／大塚史明／加藤正之／川島敬子／国東恵子／倉沢正則／多美子／後藤牧人／順子／小林高徳／宮子／櫻井菊子／笹川雅弘／信太紀二／篠原哲二／篠原基章／柴田初男／田中幸子／徳田信／野島 Ienussou / 聖美 / 馬場千晶 / 平野雅子 / 細谷潔 / 紀弥 / 堀内亨祐 / 水越悦夫 / 佳子 / 森清 / 森健 / 山口陽一 / 大和昌平 / 横森剛 / 和田二郎 / 栄子

◆夏期伝道献金

伊藤天雄／川島敬子／菊池美／倉沢正則／多美子／小林高徳／宮子／佐藤良子／篠原基章／藤田直樹／森清／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平

◆教会音楽献金

あらし野キリスト教会／柏キリスト教会／クリスマスコンサート／卒業修了記念コンサート／千葉栄光教会／筑波みことば教会／連沼キリスト教会／厩下がりのコンサート／菅田

◆異文化実習支援献金

東田涼／池上王士／桃子／川元久美／倉沢正則／多美子／小林高徳／宮子／菅原好江／鈴木洋宣／尚美／田村あり／西岡力／西原忍／藤木和枝／三谷義也／美香／森清／森優子／森田哲也／李相勇

◆教会教職者志望学生奨学金基金

綾瀬東部教会／磐田キリスト教会／佐渡金井キリスト教会／取手キリスト教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／金谷植／匿名／泉さえ／内山茂生／智佐江／宇内千晴／大瀧恵理也／和子／木岡大二郎／川島敬子／木内伸嘉／菊池美／村美紀子／倉沢正則／多美子／小谷みや子／小林高徳／宮子／佐藤良子／篠原哲二／篠原基章／柴田敏彦／恵子／柴田初男／杉山年彦／高木創／金侑辰／竹川満里子／竹下悦子／武田厚子／谷口精子／塚田良二／中川洋佑／麻祐／並木孝之／野瀬朋子／馬場千晶／早川佳枝／久島孝玉／混谷逸郎／平塚治樹／水越悦夫／佳子／溝口昌樹／三井平康／匿名／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平

◆留学生奨学金基金

金谷植／徐有珍／阿部伊作／栗野桂子／匿名／伊藤天雄／宇内千晴／岡田浩平／岡田雄／長下部昇／川島敬子／菊池美／国吉守／倉沢正則／多美子／匿名／小林高徳／小林宮子／佐竹十喜雄／信太紀二／篠原基章／柴田敏彦／恵子／竹下悦子／田中幸子／内藤真奈／野瀬朋子／朴日永／混谷逸郎／平野雅子／藤田直樹／溝口昌樹／匿名／森恵子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平

学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
〇〇一〇一五二七五七六四八

# Information

所...会場 日...日時 講...講師 料...受講料  
問...問い合わせ先 申...申し込み先

## 教会音楽行事

### ① 「パイプオルガンさんこんにちは」

日 5月7日(土)13:30-14:30 料 無料

### ② 「東京基督教大学教会音楽・神学公開講座」 「屋下がりのコンサート」

日 6月13日(月)12:20-12:50 料 無料

所 チャペル

演奏者 川口あかり、松浦富美(ピアノ・教会音楽専攻科生)

公開講座 「主はわたしの歌  
～こどもからおとなまで一緒にうたえる歌を～」

日 6月13日(月)13:15-15:15 料 2,400円

講 武 義和(土浦めぐみ教会音楽主事)

公開講座は事前申し込み、受講料は当日受付にて。

申込内容 ①氏名②電話(連絡先) 申込締切 6月6日(月)

申 E-mail:music@tci.ac.jp

Tel:0476-46-1131 Fax:0476-46-1405

## 第45回夏期教会音楽講習会

日 2016年7月21日(木)-7月23日(土)

所 東京基督教大学

主題 「繋げる～世代を超えて伝えていきたいこと～」

講 山口陽一

講演 「ヘンデル『メサイア』第三部

～音楽に表されている福音」ランドル・ショート

演習 アンサンブル(器楽、声楽、トーンチャイム、バンド、リコーダー)

合唱 メサイアより「アーメンコーラス」、「God bless you」

実技レッスン オルガン、声楽、作曲、ウクレレ・ギター、ピアノ

定員 各レッスン12名

料 受講料:17,000円 聴講料:12,000円

中高生:10,000円(受・聴講同額)

申込締切 6月15日(水)

宿泊費 1泊 6,500円(シングル)

宿泊場所 ホテルマークワン(千葉NT中央駅前)

食費 昼食(700円)、夕食(800円)

※ご宿泊の方の朝食はホテルにて軽食があります。

問申 東京基督教大学

教会音楽アカデミー夏期教会音楽講習会

TEL:0476-31-5522 FAX:0476-31-5521

E-mail:fcc@tci.ac.jp

(ウェブサイトからもお申し込み可)

発行人:学長 小林高德

編集:東京基督教大学「大学報編集委員会」

270-1347 千葉県印西市内野三丁目301番5

TEL.0476-46-1131 FAX.0476-46-1405

URL www.tci.ac.jp

Facebook www.facebook.com/TokyoChristianUniversity

## FCC教会教職特別セミナー

### 「【震災と信仰調査】に見る この5年とこれからの5年」

日 5月23日(月)13:00-15:30

講 大友幸一先生(塩釜聖書バプテスト教会牧師)

所 国際宣教センターチャペル

料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名②電話③E-mail④所属教団・教会名

申込締切 5月18日(水)

申 E-mail:fcc@tci.ac.jp

Fax:0476-31-5521

## オープンキャンパス

日 5/13(金)～14(土)寮一泊型(5/14だけでも可能)、  
6/11(土)、7/16(土)

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、  
キャンパスツアー、模擬授業、  
学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。

また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラム参加者に交通費の補助を差し上げます。

問申 本学ウェブサイトからお申し込み下さい。  
教務課入試担当(0476-46-1131)

## 夏期卒業式

日 7月8日(金)13:30-

所 チャペル

問 総務課(soumu@tci.ac.jp)

## 2016年度 学年暦

5月25日-27日 スプリングリトリート

6月14日 祈祷日

6月30日 春学期授業終了

7月8日 夏期卒業式

7月9日-18日 夏期伝道

7月21日-23日 夏期教会音楽講習会

8月29日 秋学期授業開始

10月10日 シオン祭

10月20日-26日 世界宣教講座

11月2日 創立記念礼拝・講演

11月14日 秋学期授業終了

11月19日-27日 秋休み

11月28日 冬学期授業開始

12月17日-1月4日 冬休み

2月10日 祈祷日

2月27日 冬学期授業終了

3月10日 春期卒業・修了式